

KSI・II

中間発表会について

今日の内容

中間発表会について

1. 日時

- 8月25日(金)
- 5・6校時

2. 場所

- 大ホール

3. アドバイザー

- ○○大学 ○○○○先生
- △△大学 △△△△先生
- □□大学 □□□□先生

※1年生理数科も聴講します。

4. 方法

2つのグループに分けます

- Aグループ⇒1班～5班
- Bグループ⇒6班～10班

4. 方法

前半(40分): Aグループが発表
Bグループが聴講

[休憩(10分)]

後半(40分): Bグループが発表
Aグループが聴講

講評(10分)

4. 方法

前半・後半ともセッションを5回行います。

- 各セッション: 7分 + 移動1分 = 8分
- 発表4分程度、質疑3分程度

※各班とも同じ発表を5回するということ

4. 方法

前半	1班	2班	3班	4班	5班
セッション1	6	7	8	9	10
セッション2	7	8	9	10	6
セッション3	8	9	10	6	7
セッション4	9	10	6	7	8
セッション5	10	6	7	8	9

4. 方法

後半	6班	7班	8班	9班	10班
セッション6	1	2	3	4	5
セッション7	2	3	4	5	1
セッション8	3	4	5	1	2
セッション9	4	5	1	2	3
セッション10	5	1	2	3	4

4. 方法

全体の司会と時間管理：中道

各セッションの進行：各班で生徒が担当

- 「発表を始めます」「質問はありませんか」
など

4. 方法

各セッションの係分け

- 説明者(複数名可)、担当者1名
- 留意事項(5回のセッションで)
- 全員が1回以上発表する
 - 全員が1回以上進行担当を担当する

5. 発表内容

- 研究テーマ、研究の動機、リサーチクエスチョン、仮説、実験計画、先行研究 等を報告

6. スライドの作り方

- 1スライド⇒1テーマ
- 文章ではなく箇条書きで
- 投影後5m離れて読める字の大きさ
- 必然性のないアニメーションは不可
- 図や写真にはキャプションをつける
- unnecessaryな装飾も不可

6. スライドの作り方



- 1スライド⇒1テーマ
- 文章ではなく箇条書きで
- 投影後5m離れて読める字の大きさ
- 必然性のないアニメーションは不可
- 図や写真にはキャプションをつける
- unnecessaryな装飾も不可

6. スライドの作り方

- フォントはゴシック系が良い
- 文字の色は濃い色を
- 文字の色のみで強調しない。強調するときにはフォントの大きさやフォントの種類も変える
- 白抜き文字は厳禁

6. スライドの作り方

- 参考文献はかならず掲載する

- 1) 宮野公樹:「研究発表のためのスライドデザイン」、講談社ブルーバックス(2013)
- 2) 中道洋友 他:「スライドの作り方」、啓成高校研究紀要vol.50、P120、2023

等と書きます。詳しくは後日

- ただし、ウィキペディアは不可

7. おわりに

- 聴衆ははじめて君達の研究に接する！
- 一つ一つが当たり前ではない！
- 「伝える」「解ってもらおう」という気持ちが一番大切！！